

## 令和4年度「専門領域薬剤師養成研究会」開催にあたって

一般社団法人東京都病院薬剤師会  
会長 林 昌 洋

新型コロナウイルス感染症の流行により令和3年度の「専門領域薬剤師養成研究会」はWeb形式の講習会やグループワークとして開催いたしました。医療従事者は3回目のワクチン接種が完了していますが、医療機関においてはBCPの策定など引き続き感染対策への配慮が必要な状況が続くことから、令和4年度も集合型で開催するのは困難と判断し、昨年度同様にWeb形式の講習会・グループワーク開催を準備しております。

医師の働き方改革に合わせてタスクシフト/シェアが進められる中、薬に関する高度な専門職として薬剤師職能を発揮し、チーム医療に貢献される会員の皆様に支援する観点から研鑽の機会を用意すべく専門薬剤師養成部を中心に、各領域の委員会が具体的な研修を準備しています。

会員の皆様の日頃の研鑽に加えて、本研究会への参加を通じて更なる専門性を培っていただき、各領域の医療現場において薬物療法の最適化に活躍されることを支援したいと考えております。

東京都病院薬剤師会では、令和4年度以下の10領域について、通年での研究会プログラムを開催することといたします。

会員の皆様ご自身、更にはご施設のニーズに合わせて積極的なご参加をお待ちしております。

- |                  |            |                     |
|------------------|------------|---------------------|
| 1. がん領域          | (委員長 濱 敏弘  | がん研究会有明病院)          |
| 2. 褥瘡領域          | (委員長 関根 祐介 | 東京医科大学病院)           |
| 3. 輸液・栄養領域       | (委員長 西澤 健司 | 東邦大学医療センター大森病院)     |
| 4. 糖尿病領域         | (委員長 井上 岳  | 北里大学北里研究所病院)        |
| 5. 緩和医療領域        | (委員長 伊東 俊雅 | 東京女子医科大学附属足立医療センター) |
| 6. 抗菌化学療法・感染制御領域 | (委員長 木村 利美 | 東京女子医科大学病院)         |
| 7. 精神科領域         | (委員長 高橋 結花 | 東京女子医科大学病院)         |
| 8. 妊婦・授乳婦領域      | (委員長 刈込 博  | 聖カタリナ病院)            |
| 9. 臨床研究領域        | (委員長 榎本有希子 | 日本大学医学部附属板橋病院)      |
| 10. 高齢者領域        | (委員長 金内 幸子 | 公益財団法人東京都医療保健協会)    |

がん領域、緩和医療領域、抗菌化学療法・感染制御領域では、アドバンスコースを設け、より高度な専門領域の知識や技術を学ぶための研究会も行われます。

いずれの研究会も、遅刻、早退をすることなく、1年間継続して全ての日程を修了された方に修了証を交付いたします。専門領域研究会へ参加され、チーム医療の中で求められるより高い臨床能力とコミュニケーションスキルを体得され、その成果を各施設の薬剤業務において発揮されることを期待しています。

なお、研究会の開催日程及び内容、参加資格、参加費、募集人員、申し込み方法等につきましては、注意事項（全領域共通）ならびに参加希望の研究会案内をご確認ください。

令和4年度、「輸液・栄養領域薬剤師養成研究会（配合変化・輸液ライン・フィジカルアセスメント）」に関しては年間を通しての研究会の開催は見送ることとなりました。ご理解頂けますようお願い致します。

※「臨床推論研究会」の募集も合わせて行います。

## 令和4年度専門領域薬剤師養成研究会の注意事項

|               |  |
|---------------|--|
| 申込み方法         | 当会ホームページからお申込みください。  |
| 受付期間          | <b><u>3月11日(金) 12:00～3月17日(木) 15:00</u></b>  |
| 申込みの注意事項      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域の参加資格をご確認の上、お申込みください。</li> <li>・申込みは、<b>1人につき1研究会のみ</b>とします。</li> <li>・施設内で受講者の優先順位がある場合は、申込みページの該当欄に入力してください。</li> <li>・研究会参加までに異動の予定がある方は、備考欄に異動後の勤務先、異動予定日を入力してください。</li> <li>・研究会によっては、応募者多数で抽選に漏れた方を対象に、特別講演のみ受講できるコースを準備します。抽選に外れた場合、特別講演のみ受講を希望する方は応募の際、該当欄にチェックをしてください。なお、特別講演のみの受講者には、研修シールの発行は行いません。(理由：研修シールの申請は、グループワークと確認試験を含めた全プログラム修了者を対象に申請するため。) また、特別講演のみの参加費は、1回600円×回数分とします。参加費は一括で事前振込とし、不参加の回の返金はいたしません。</li> </ul> |
| メールアドレスについて   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込時に入力するメールアドレスは、<b>受講可否のご連絡</b>ならびに<b>受講決定となった場合の事前資料の送付・研究会への配信 URL 送信等に利用</b>するため、「<b>個人で確実に受信できるパソコンのメールアドレス</b>」を入力してください。yahoo メール等のフリーメールや、携帯電話のメールアドレスをご使用の場合、「メールが届かない」、「迷惑メールに分類される」場合があります。また、メールアドレスに Microsoft アカウント (hotmail,outlook,live,msn 等) をお使いの方は、本会からのメールが受信できないため、申込フォーム送信前に「差出人セーフリスト」に”@thpa.or.jp”を追加してください。</li> </ul>  |
| 申込みが【無効】になる場合 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人2研究会以上の申込みを確認した場合(全ての研究会の申込みを無効とします。)</li> <li>・入力内容に不備があった場合</li> <li>・参加資格に相違があった場合</li> <li>・申込み時点で、本会に会員登録のない方が申込みされた場合</li> </ul>   |
| 受講者の決定        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域とも定員を超えた場合は、抽選で受講者を決定いたします。(先着順ではありません。)</li> <li>・受講者は、原則として1施設2名までとしますが、応募者多数の研究会では1施設1名とすることがあります。</li> <li>・受講者決定後の受講者変更は認めません。</li> <li>・<b>特別講演のみに受講決定した場合でも、参加辞退は認めません。</b></li> </ul>   |
| 受講可否のお知らせ     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>3月31日(木)までにメールでご連絡</b>いたします。<br/>(メールを送信しましたら、ホームページの「お知らせ」にてご案内いたします。)</li> <li>・受講決定者のメールには、参加費振込先を記載しておりますので、期日までに参加費をお振込みください。<b>※参加費の振込用紙は発送いたしません。</b></li> <li>・受講可否についてのお問い合わせには、一切お答えできませんのでご了承ください。</li> </ul>  |
| 追加募集          | <p>期限内に定員に達しなかった研究会は、<br/><b><u>4月1日(金) 10:00から4月6日(水) 12:00</u></b>まで追加募集を行います。<br/>ホームページにてご案内いたしますので、ご確認のうえお申込みください。<br/>なお、追加募集は、先着順で受講者を決定し、定員になり次第申込を終了いたします。</p>  |

|                      |  |
|----------------------|--|
| <p>受講時の<br/>注意事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は<u>全領域 Web 配信での研究会を予定</u>しております。受講の際はなりすまし防止と、無断聴講防止のため、<u>カメラ付きパソコンでの受講を原則</u>とします。カメラ付きパソコンが準備できない場合は、申込時にその旨お申し出ください。</li> <li>・<b>Web 配信された内容の再配信には対応いたしません。</b></li> <li>・一度でも欠席（遅刻・早退）されますと、修了証の交付は行いません。</li> <li>・原則として遅刻・早退は認めません。欠席扱いとし、受講シール・修了証も配布しません。</li> <li>・研修シール配布のため、受講者のログイン・ログアウトタイムを管理いたします。規程の時間にみえない場合はシールの配布はできません。</li> <li>・研修シールは各研究会とも全プログラムが終了後、まとめてレターパックで勤務先へ送付します。</li> <li>・「研究会参加について、所属長の下承が得られており、全ての回に出席できる」という参加資格を確認の上、受講を決定しておりますので、業務都合による欠席は極力お控えください。</li> <li>・<u>販売情報提供ガイドラインの施行に伴い、製薬企業との共催で開催する研究会において、研修内容によってはハンドアウトの配布ができない場合がありますので、ご了承ください。</u></li> </ul> |
| <p>その他</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令4年度、以下の研究会の開催予定はございません。</li> <li>輸液・栄養領域薬剤師養成研究会（配合変化・輸液ライン・フィジカルアセスメント）</li> <li>・日程が決まっていない研究会で、申込期間中に確定した場合は、随時お知らせいたします。記載がない場合、お問い合わせいただいてもお答えできません。</li> </ul>  |

問合せ先：一般社団法人 東京都病院薬剤師会  
 TEL：03-3499-3388 MAIL：[info@thpa.or.jp](mailto:info@thpa.or.jp) （対応時間…平日 10:00～16:00）

# がん薬物療法専門薬剤師養成研究会

がん薬物療法専門薬剤師養成小委員会

委員長 濱 敏弘

2022 年度のがん薬物療法専門薬剤師養成研究会は、「Basic Class」と「Advanced Class」を設置します。

|              |  |             |               |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
|--------------|--|-------------|---------------|-------------|-----------|-----|---------------|-------------|----------|-----|----------------|-------------|-----------|-----|---------------|-------------|----------|
| 目的           | <p>◆Basic Class<br/>主要がん種のがん薬物療法の基礎を学びます。講義と課題症例に対するワークショップを通して、がん化学療法の標準療法と薬剤師の介入ポイントを理解するとともに、問題解決型学習を身に付けることを目的とする。</p> <p>◆Advanced Class<br/>すでに東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会 Basic Class を受講された会員、またはがん専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師資格取得者を対象として、患者の全身管理や標準治療を外れた患者に対する薬剤師としての介入ポイント等について、ディスカッションを通してスキルアップを図ることを目的とする。</p>  |             |               |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 参加資格         | <p>◆Basic Class, Advanced Class 共通</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 東京都病院薬剤師会の正会員で病院・診療所勤務者であること</li><li>2) 参加について所属長の上の了承を得られ、全ての回に出席できる方</li><li>3) 現在がん領域に関する業務を実践しているか、または予定している方</li></ol> <p>◆Advanced Class のみ</p> <ol style="list-style-type: none"><li>4) 下記のいずれかに該当する方<ul style="list-style-type: none"><li>・「がん専門薬剤師」または「がん薬物療法認定薬剤師」の資格取得者</li><li>・東京都病院薬剤師会「がん薬物療法専門薬剤師養成研究会 Basic Class」を受講済の方</li></ul></li></ol> <p>※これまでに各クラスの受講修了者の再受講は、定員割れがある場合のみ認める。<br/>(初回受講希望者を優先とする)</p> |             |               |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 募集人数         | <p>◆ Basic Class …… 42 名</p> <p>◆ Advanced Class … 20 名</p> <p>※応募者多数の場合、抽選に外れた応募者の中から特別講演のみの受講生を検討します</p>   |             |               |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 研究会の<br>主な内容 | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 講義研修 ……Basic、Advanced 共通で行う</li><li>2. グループワーク…Basic、Advanced に分かれて課題症例の検討を行う</li><li>3. 確認試験 ……講義研修の内容について確認テストを実施する</li></ol>   |             |               |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 今年度の<br>予定   | <p>【開催日時（全4回）】</p> <table border="1"><tr><td>第1回</td><td>R 4. 7月(土) 予定</td><td>14:00~18:00</td><td>テーマ: 大腸がん</td></tr><tr><td>第2回</td><td>R 4. 9月(土) 予定</td><td>14:00~18:00</td><td>テーマ: 乳がん</td></tr><tr><td>第3回</td><td>R 4. 11月(土) 予定</td><td>14:00~18:00</td><td>テーマ: 血液がん</td></tr><tr><td>第4回</td><td>R 5. 1月(土) 予定</td><td>14:00~18:00</td><td>テーマ: 肺がん</td></tr></table> <p>※講師等の都合により日程が変更される場合があります<br/>★ニーズに合わせて公開講座を行う場合があります(参加費徴収は別で実施)</p>  | 第1回         | R 4. 7月(土) 予定 | 14:00~18:00 | テーマ: 大腸がん | 第2回 | R 4. 9月(土) 予定 | 14:00~18:00 | テーマ: 乳がん | 第3回 | R 4. 11月(土) 予定 | 14:00~18:00 | テーマ: 血液がん | 第4回 | R 5. 1月(土) 予定 | 14:00~18:00 | テーマ: 肺がん |
| 第1回          | R 4. 7月(土) 予定  | 14:00~18:00 | テーマ: 大腸がん     |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 第2回          | R 4. 9月(土) 予定  | 14:00~18:00 | テーマ: 乳がん      |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 第3回          | R 4. 11月(土) 予定   | 14:00~18:00 | テーマ: 血液がん     |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 第4回          | R 5. 1月(土) 予定  | 14:00~18:00 | テーマ: 肺がん      |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |
| 参加費          | <p>8,500 円(4回分) ※研修シール郵送料込み<br/>特別講演のみ受講 2,400 円</p>   |             |               |             |           |     |               |             |          |     |                |             |           |     |               |             |          |

# 褥瘡領域薬剤師養成研究会

褥瘡領域薬剤師養成小委員会  
委員長 関根 祐介

| <p>目的</p>            | <p>褥瘡における基礎を学び、事例を交えた検討により、臨床応用できる知識の修得を目指す。<br/>○皮膚の構造を理解した上で褥瘡を学び、栄養やポジショニングなど多角的観点で褥瘡治療を考える。体圧分散寝具、褥瘡モデルを用いたWeb 実習など、実践に応用できる研修会を構成。<br/>○症例検討では、Web 上でディスカッションし、最適な褥瘡治療を考える。<br/>○多岐に渡るプログラムのもと、薬剤師としての専門性を活かした褥瘡への関わりをともに考えていく場とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 褥瘡の病態、ケアや治療の基礎を学び、褥瘡についての知識を深める</li> <li>2) 多職種が関わる褥瘡治療において、薬剤師の役割を考える</li> <li>3) 施設間で褥瘡への関わり方を交流しあい、新たな活動の一步とする</li> <li>4) 事例検討を通し、症例から学び取る力を養う</li> <li>5) Web 実習から、褥瘡への実践力を身につける</li> </ol>   |   |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
|----------------------|---|---|------|----|---------------|-------------|---|---------------|-------------|--|--------------|-------------|-----------------------------------|----------------|-------------|--|----------------|-------------|---------------------------------------|
| <p>参加資格</p>          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東京都病院薬剤師会の会員</li> <li>2) 参加について所属長の上の了承を得られ、予定された研究会5回全てに必ず参加できる方<br/>※一度受講された方でも再受講可ですが、定員を超えた場合は初回の方を優先します。</li> </ol>  |   |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| <p>募集人数</p>          | <p>50 名</p>   |   |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| <p>研究会の<br/>主な内容</p> | <p>○講義形式：1) 皮膚の構造、褥瘡・創傷治癒の仕組み<br/>2) 褥瘡評価 (DESIGN-R2020 ツールを用いて)<br/>3) 褥瘡の予防と栄養、栄養剤の選択<br/>4) ドレッシング材について、薬剤について<br/>5) 褥瘡の病態と治療について<br/>6) 体圧分散 (マットレスの種類・選択基準、ポジショニング)<br/>○ディスカッション：事例から褥瘡予防・治療を考える<br/>○Web 実習：1) 褥瘡処置の実際 (軟膏の混合、ガーゼや被覆材の使い方)</p>  |   |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| <p>今年度の<br/>予定</p>   | <p>★開催日は土曜日の午後を予定しております。状況により日程変更する場合があります。</p> <table border="1" data-bbox="300 1467 1501 1973"> <thead> <tr> <th></th> <th>予定時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回<br/>(5/21)</td> <td>15:00~18:00</td> <td>・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」<br/>・講義：「褥瘡チームにおける薬剤師の役割」<br/>・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」</td> </tr> <tr> <td>第2回<br/>(6/18)</td> <td>15:00~18:00</td> <td>・講義：「褥瘡状態の評価法 (DESIGN-R2020)」<br/>○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける—</td> </tr> <tr> <td>第3回<br/>(7/9)</td> <td>15:00~18:00</td> <td>・講義：「褥瘡の予防と栄養」<br/>○症例検討 —栄養の観点から—</td> </tr> <tr> <td>第4回<br/>(10/15)</td> <td>15:00~18:00</td> <td>・講義：「外用剤・ドレッシング剤の基礎」<br/>○症例検討 —処置薬の選択—</td> </tr> <tr> <td>第5回<br/>(11/12)</td> <td>14:45~18:30</td> <td>・講義：「褥瘡の病態と治療」<br/>○Web 実習：軟膏ミックスと褥瘡処置</td> </tr> </tbody> </table> |   | 予定時間 | 内容 | 第1回<br>(5/21) | 15:00~18:00 | ・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」<br>・講義：「褥瘡チームにおける薬剤師の役割」<br>・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」 | 第2回<br>(6/18) | 15:00~18:00 | ・講義：「褥瘡状態の評価法 (DESIGN-R2020)」<br>○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける— | 第3回<br>(7/9) | 15:00~18:00 | ・講義：「褥瘡の予防と栄養」<br>○症例検討 —栄養の観点から— | 第4回<br>(10/15) | 15:00~18:00 | ・講義：「外用剤・ドレッシング剤の基礎」<br>○症例検討 —処置薬の選択— | 第5回<br>(11/12) | 14:45~18:30 | ・講義：「褥瘡の病態と治療」<br>○Web 実習：軟膏ミックスと褥瘡処置 |
|                      | 予定時間  | 内容  |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| 第1回<br>(5/21)        | 15:00~18:00   | ・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」<br>・講義：「褥瘡チームにおける薬剤師の役割」<br>・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」 |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| 第2回<br>(6/18)        | 15:00~18:00   | ・講義：「褥瘡状態の評価法 (DESIGN-R2020)」<br>○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける—            |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| 第3回<br>(7/9)         | 15:00~18:00   | ・講義：「褥瘡の予防と栄養」<br>○症例検討 —栄養の観点から—                                     |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| 第4回<br>(10/15)       | 15:00~18:00   | ・講義：「外用剤・ドレッシング剤の基礎」<br>○症例検討 —処置薬の選択—                                |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| 第5回<br>(11/12)       | 14:45~18:30   | ・講義：「褥瘡の病態と治療」<br>○Web 実習：軟膏ミックスと褥瘡処置                                 |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |
| <p>参加費</p>           | <p>8,000 円 (5 回分) ※研修シール郵送料込み</p>   |   |      |    |               |             |   |               |             |  |              |             |                                   |                |             |  |                |             |                                       |

# 輸液・栄養領域薬剤師養成研究会 (水電解質異常から栄養管理まで)

輸液・栄養領域薬剤師養成小委員会  
委員長 西澤 健司

|                                 |  |                   |  |
|---------------------------------|--|-------------------|--|
| 目的                              | 輸液・栄養療法に関する全般的な専門知識を習得し、医療チームの一員として適正かつ有効な輸液・栄養療法を支援できる基礎能力を育成する。  |                   |  |
| 参加資格                            | 1) 東京都病院薬剤師会の会員<br>2) 参加について所属長の上の了承を得られ、予定している研究会に全て参加できる方<br>3) 現在、輸液・栄養領域に関する業務を実施しているか、または予定している方<br>※ 一度受講した方でも再受講可   |                   |  |
| 募集人数                            | 48名  |                   |  |
| 研究会の<br>主な内容<br>・<br>今年度<br>の予定 | 開催日  |                   | 内容   |
|                                 | 第1回  | R4. 6. 9<br>(木)   | オリエンテーション<br>水・電解質異常の講義 (委員)<br>水・電解質異常症例検討    |
|                                 | 第2回  | R4. 7. 14<br>(木)  | 水・電解質異常の症例 発表 (各グループ)<br>水・電解質異常の解説 (講義: 医師)   |
|                                 | 第3回  | R4. 9. 15<br>(木)  | 酸・塩基平衡異常の講義 (委員)<br>酸・塩基平衡異常の症例検討              |
|                                 | 第4回  | R4. 10. 13<br>(木) | 酸・塩基平衡異常の症例 発表 (各グループ)<br>酸・塩基平衡異常の解説 (講義: 医師) |
|                                 | 第5回  | R5. 1. 19<br>(木)  | 栄養改善の講義 (委員)<br>栄養改善の症例検討                      |
|                                 | 第6回  | R5. 2. 16<br>(木)  | 栄養改善の症例 発表 (各グループ)<br>栄養改善の解説 (講義: 医師)         |
|                                 | 【開催時間】 18:00~20:00<br><br>【開催回数】 6回/年<br>※講師などの都合により日程が変更する場合があります。  |                   |  |
| 参加費                             | 6,500円 (6回) ※研修シール郵送料込み  |                   |  |
| その他                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欠席時の資料は再配布しません。請求されてもお渡ししません。</li> <li>・ 参加者は東京都病院薬剤師会編「新・薬剤師のための輸液・栄養療法 第2版」(薬事日報社)を購入の上、事前学習をしておいてください。</li> <li>・ 特別講演会を開催予定です。</li> </ul> |                   |  |

# 糖尿病領域薬剤師養成研究会

糖尿病領域薬剤師養成小委員会

委員長 井上 岳

厚生労働省の「2016年 国民健康・栄養調査結果」の推計では、国内の成人男女のうち糖尿病が強く疑われる者（糖尿病有病者）は約1,000万人で過去最多となっております。また、糖尿病の可能性を否定できない者（糖尿病予備軍）も約1,000万人とされ、合わせて約2,000万人もの耐糖能異常者が存在すると報告されています。1997年の調査開始以降、2007年の約2,210万人から減少傾向を示していますが、依然として高い数値で推移しています。また、糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）の2019年度基礎集計資料によると、2型糖尿病患者の平均HbA1cの年次推移は低下傾向にあります。2014年には若干上昇し、2019年にはさらに上昇して7.10%となっています。

近年、糖尿病の薬物療法は、経口糖尿病薬、インスリン製剤およびGLP-1受容体作動薬と多岐にわたります。一方、通院加療中の糖尿病患者は、定期的な受診や服薬のみならず生活習慣を改善する厳格な自己管理が求められており、患者さん自身が治療法を十分理解し、日々の生活の中で実行していく必要があります。

このような中、日常診療の中で糖尿病患者さんに係わる薬剤師は、食事療法や運動療法など患者の生活習慣について知った上で患者指導する必要性があります。現在、日本糖尿病療養指導士認定機構が2001年より認定している日本糖尿病療養指導士（Certified Diabetes Educator of Japan：CDEJ）があります。CDEJとは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理（療養）を患者に指導する医療スタッフのことであり、2021年6月15日現在、19,096名が認定されており、うち薬剤師は2,946名（15.4%）と、5職種の中で看護師、管理栄養士の次に多い職種です。また日本くすりと糖尿病学会が2016年より認定薬剤師制度が開始され、2019年度には薬剤師認定制度認証機構により認証された特定領域認定制度（P06）となり、現在120名の糖尿病薬物療法認定薬剤師が認定されています。

本研究会では、将来CDEJや糖尿病薬物療法認定薬剤師の認定試験受験を希望される方、再度知識を確認されたい方、糖尿病患者さんへのかかわりが多い薬剤師を対象に、糖尿病療養指導に必要な基本知識を習得することができるよう研究会の構成を考えております。糖尿病患者さんへの療養指導こそが糖尿病の治療そのものであるとの立場から、糖尿病セルフケアをサポートしていける薬剤師の育成を目指しています。ご興味のある方、是非ご参加ください。

|              |  |
|--------------|--|
| 目的           | 1) 糖尿病の病態および治療の基礎について習得する<br>2) 糖尿病患者の心理と行動の基礎知識を習得する<br>3) 糖尿病の食事療法の基礎知識を習得する<br>4) 糖尿病薬治療薬の適正使用について習得する<br>5) インスリン療法および自己注射手技を習得する                          |
| 参加資格         | 1) 東京都病院薬剤師会の会員<br>2) 参加について所属長の了承を得られ、予定している研究会に全て参加できる方<br>3) 現在糖尿病領域に関する業務を実践しているか、または予定している方<br>4) 一度受講されてから5年以内の方は申し込みできません<br>※なお、申し込み多数の場合、未受講者を優先いたします |
| 募集人数         | 64名  |
| 研究会の<br>主な内容 | 1) 最新の糖尿療養指導に関する講義<br>2) 症例検討、グループディスカッション<br>3) インスリン注射および自己血糖測定の手技指導<br>4) 確認テスト<br>5) その他   |

【開催時間】 第 1, 3, 4, 5, 6 回 : 14 : 00~18 : 00  
第 2 回 : 14 : 30~18 : 30

【開催場所】

- ・ Web 開催 (Zoom ミーティングにて開催)
- ※可能な限りパソコンからのご参加をお願いいたします。

|       | 開催日             | 講演内容                           | 講師    |
|-------|-----------------|--------------------------------|-------|
| 第 1 回 | R 4. 6. 4 (土)   | 糖尿病の病態と治療                      | 医師    |
| 第 2 回 | R 4. 7. 9 (土)   | 糖尿病患者の心理と行動                    | 医師    |
| 第 3 回 | R 4. 9. 3 (土)   | 食事療法の基本                        | 管理栄養士 |
| 第 4 回 | R 4. 10. 15 (土) | 薬物療法 1<br>(経口糖尿病薬とインクレチン製剤)    | 医師    |
| 第 5 回 | R 4. 11. 19 (土) | 薬物療法 2<br>(インスリンと CSII・SAP 療法) | 医師    |
| 第 6 回 | R 5. 1. 28 (土)  | SMBG およびインスリン手技指導体験            | 薬剤師   |

第 6 回に関しては、Web 開催という限られた環境での研究会となりますので、画面上での見学となりますが、各自でデバイス等を可能な範囲内でご用意いただきご参加いただくことも可能です。詳細に関しては、第 5 回開催時にご案内いたします。  
また、開催場所と日程につきましては、変更する場合がありますので、ご容赦ください。  
変更がある場合、前の回の開催日までにご連絡いたします。

参加費 10,500 円 (6 回分) ※研修シール郵送料込み

その他 公開講座については、令和 5 年 3 月の土曜日午後に、Web 開催予定です。  
詳細が決まり次第ご案内いたします。

# 緩和医療領域薬剤師養成研究会

緩和医療領域薬剤師養成小委員会

委員長 伊東 俊雅

本研究会では、積極的な認定薬剤師の育成に力を入れるべく、本年度はWebにて養成研究会を開催いたします。この研究会は、緩和医療専門薬剤師の認定を見据えたものですが、実践力のある薬剤師を認定することを大きな目的の一つに掲げていますので、本研究会はその登竜門として最適の研究会であると考えます。また、緩和医療を取り巻く薬剤師の置かれる立場はさらなる知識・技能・態度を求められるようになりましたが、ボトムアップを目的に「初学者向けBasic Class」「認定者・実務者Advanced Class+公開講座」とし、緩和薬物療法のスキルアップだけでなく、在宅緩和ケアを見据えた退院調整や薬薬連携についての研修・講座開催などを行うことを予定し会員の皆様のご参加をお待ちしております。

|        |   |      |                |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
|--------|---|------|----------------|------|----------|--|--|-----|----------------|-----|----------|------|--------------|--|--|-----|--------------|-----|----------|------|-----------|--|--|-----|---------------|-----|-----------|------|---------------|--|--|-----|---------------|-----|-------------|------|----------------|--|--|-----|---------------|
| 目的     | 緩和医療を必要としている患者さんに積極的にかかわれる知識と実践力を身につける。   |      |                |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 参加資格   | <p>◆Basic Class, Advanced Class、共通</p> <p>1) 東京都病院薬剤師会の会員で病院・診療所勤務者である方</p> <p>2) 参加について所属長の了承を得られ、予定された講義に全て参加できる方(厳守!)</p> <p>3) 初学者、現在緩和ケア領域に興味がある、または緩和ケア領域の業務を予定している方</p> <p>◆Basic Classのみ</p> <p>4) 一度当会で修了証を発行された方の申込は出来ません。</p> <p>◆Advanced Class (症例検討参加者)</p> <p>5) 現在緩和ケア領域に関する業務を実践している方</p> <p>6) 下記のいずれかに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都病院薬剤師会「緩和医療領域薬剤師養成研究会 (Basic Class)」を受講済み</li> <li>・日本緩和医療薬学会「緩和薬物療法認定薬剤師」・「緩和薬物療法暫定指導薬剤師」の資格取得者等が関連薬剤師資格含む)</li> </ul>   |      |                |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 募集人数   | <p>◆Basic Class …… 60名</p> <p>◆Advanced Class …… 40名</p>  |      |                |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 研究会主内容 | <p>◆Basic Class, Advanced Class 共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和医療専門家による教育講演・模擬患者を用いたSGD形式による症例のグループ検討・自己評価試験</li> </ul>   |      |                |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 今年度の予定 | <p>※日程は変更になる可能性があります。正式な日程は第1回開催時に連絡する予定です。</p> <p>◆Basic Class (全5回) 【開催時間】 13:00~17:30</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">第1回</td> <td style="width: 15%;">5月21日(土)</td> <td style="width: 30%;">教育講座</td> <td style="width: 45%;">緩和医療基礎講座</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>SGD</td> <td>オピオイド鎮痛薬の導入症例①</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>7月16日(土)</td> <td>教育講座</td> <td>痛みの包括的アセスメント</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>SGD</td> <td>鎮痛薬の評価を行う症例②</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>9月10日(土)</td> <td>教育講座</td> <td>がん疼痛の薬物療法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>SGD</td> <td>がん疼痛マネジメント症例③</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>11月12日(土)</td> <td>教育講座</td> <td>コミュニケーションを中心に</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>SGD</td> <td>がん疼痛マネジメント症例④</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>R5.2月11日(土)</td> <td>教育講座</td> <td>緩和における薬物療法(総合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>SGD</td> <td>がん疼痛マネジメント症例⑤</td> </tr> </table> <p>*各研究会終了時に、研修内容の自己評価試験を行います。</p> | 第1回  | 5月21日(土)       | 教育講座 | 緩和医療基礎講座 |  |  | SGD | オピオイド鎮痛薬の導入症例① | 第2回 | 7月16日(土) | 教育講座 | 痛みの包括的アセスメント |  |  | SGD | 鎮痛薬の評価を行う症例② | 第3回 | 9月10日(土) | 教育講座 | がん疼痛の薬物療法 |  |  | SGD | がん疼痛マネジメント症例③ | 第4回 | 11月12日(土) | 教育講座 | コミュニケーションを中心に |  |  | SGD | がん疼痛マネジメント症例④ | 第5回 | R5.2月11日(土) | 教育講座 | 緩和における薬物療法(総合) |  |  | SGD | がん疼痛マネジメント症例⑤ |
| 第1回    | 5月21日(土)  | 教育講座 | 緩和医療基礎講座       |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
|        |   | SGD  | オピオイド鎮痛薬の導入症例① |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 第2回    | 7月16日(土)  | 教育講座 | 痛みの包括的アセスメント   |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
|        |   | SGD  | 鎮痛薬の評価を行う症例②   |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 第3回    | 9月10日(土)  | 教育講座 | がん疼痛の薬物療法      |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
|        |   | SGD  | がん疼痛マネジメント症例③  |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 第4回    | 11月12日(土)   | 教育講座 | コミュニケーションを中心に  |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
|        |   | SGD  | がん疼痛マネジメント症例④  |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
| 第5回    | R5.2月11日(土)   | 教育講座 | 緩和における薬物療法(総合) |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |
|        |   | SGD  | がん疼痛マネジメント症例⑤  |      |          |  |  |     |                |     |          |      |              |  |  |     |              |     |          |      |           |  |  |     |               |     |           |      |               |  |  |     |               |     |             |      |                |  |  |     |               |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>◆Advanced Class (全2回)【開催時間】13:00~17:30</p> <p>第1回 8月7日(日)<br/>         特別公開教育講座 13:00-15:00<br/>         SGD 15:00-17:30 がん疼痛マネジメント症例①</p> <p>第2回 R5.3月12日(日)<br/>         特別公開教育講座 13:00-15:00<br/>         SGD 15:00-17:30 がん疼痛マネジメント症例②</p>  |
| <p>参加費</p>      | <p>◆基礎コース……………10,500円(5回分)<br/>         ◆アドバンスコース……………4,500円(2回分)<br/>         ※研修シール郵送料込み</p>   |
| <p>特別公開教育講座</p> | <p>※Advance Class の教育講座を公開講座として、別途募集します。(定員 200名)</p> <p>【参加資格】 1) 東京都病院薬剤師会の会員で病院・診療所勤務者である方<br/>         2) 東京都病院薬剤師会の会員で初学者、現在緩和ケア領域に興味がある、または緩和ケア領域の業務を予定している方<br/>         3) 東京都病院薬剤師会非会員の薬剤師・薬局薬剤師等</p> <p>【開催日時】 令和4年8月7日、令和5年3月12日 13:00-15:00 Web 開催</p> <p>【参加費】 会員(東京都病院薬剤師会・東京都薬剤師会) 1,000円<br/>         非会員 2,000円<br/>         ※シール郵送料込み</p>  |
| <p>その他</p>      | <p>◆基礎コース、アドバンスコース共通のZoom形式研修会について</p> <p>*SGDでは、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて、受講者6~8名のグループを編成し小グループ学習を行います。</p> <p>*基礎コース(聴講のみ含む)・アドバンスコース参加者はZoomアカウントを取得してもらい、参加時は原則としてビデオ機能をONにして御参加ください。事前に機器等の御準備をお願いします。</p> <p>*研修会は記録および出席確認のため、録画いたします。また参加にあってはアカウント名を「日本語表記」による氏名に変更して参加することが必要ですのであらかじめ、操作等御確認ください。</p> <p>*回線上限に到達すると回線ダウンの恐れがあります。複数機器からのダブルログインはご遠慮ください。</p> <p>◆特別公開講座のZoom形式開催について</p> <p>*特別公開講座は、別途募集を適切な時期に行います。</p> <p>*Advance Classの方は公開講座への申し込みは不要です。</p> <p>◆本研究会留意事項について</p> <p>*参加された方には、日本緩和医療薬学会認定シール(学会員のみ)も配布予定といたします。</p> <p>*認定シールは、Basic Class, Advance Class いずれも年間でまとめてお送りします。</p> <p>*欠席された回の資料、認定シール等はお渡しできませんので、ご了承ください。</p> <p>*講師の都合により日程を調整または変更する可能性があります。</p> <p>*無断欠席、Zoomにおける長時間の離席などにより出席と認められないもの等で3回以上カウントされた場合<br/>         次年度の当該施設の本件研究会へのエントリーを御遠慮いただくこともありますので御留意ください。</p> <p>※他学会、日病薬の認定薬剤師講座等の必要講座を受講希望される方は、当研究会欠席時の正当理由にはあたりませんのでご注意ください。</p> |

# 抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成研究会

## 基礎コース・アドバンスコース

抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成小委員会  
委員長 木村 利美

MRSA、CRE、MDRP の院内感染が象徴するように、耐性菌の出現・蔓延化は、感染症の難治化ばかりでなく医療経済をも圧迫し、抗菌薬が世に出現して以来、常に共存し続けてきた問題であったことは言うまでもありません。感染症領域は、消毒剤や抗菌薬の適正使用において薬に関わる問題が多くあり、院内感染防止と Antimicrobial Stewardship (抗菌薬適正使用管理)、PK-PD 理論の実践、TDM、AMR 対策などは薬剤師が関わるべき必須業務となっています。政府は 2016 年に AMR (薬剤耐性) アクションプランを策定し 2018 年の診療報酬改定において、AMR 対策の推進、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の取り組みの推進に資する評価が出され、薬剤師は中心的な役割を果たすことになりました。

本領域の研究会は、基礎コースとアドバンスコースの2つのコース、半日講習会「基本を学ぼう！感染制御と感染症治療」「これから始める AMR の取り組み」を企画しています。コース研修は特別講演並びにワークショップに確認テストを組み合わせる形式で参加型、半日講習会は座学とアンケートを行います。また、今年度は基礎コースの抽選に外れた方から特別講演のみの受講希望を取ります(次年度再度申込可)。

いずれのコースも講師は感染症治療・感染制御等の関連学会の第一線で活躍されている医師、薬剤師、微生物学等の専門家を予定しており、一部、学会関連の認定・更新の単位にもなる内容で実施いたします。

|      |   |
|------|---|
| 参加資格 | <p>◆基礎コース</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東京都病院薬剤師会の会員</li> <li>2) 参加について所属長の下承を得られ、年6回の研究会に全て参加できる方</li> <li>3) 抗菌化学療法・感染制御領域に従事している、あるいは下記 b・c 取得を目指している方</li> </ol> <p>※一度受講された方の申込みはできません。</p> <p>◆アドバンスコース</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東京都病院薬剤師会の会員</li> <li>2) 参加について所属長の下承を得られ、年3回の研究会に全て参加できる方</li> <li>3) 下記のいずれかの条件を満たす方             <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 東京都病院薬剤師会の主催する「基礎コース」を修了された方</li> <li>b) 日本病院薬剤師会の感染制御に関する認定・専門薬剤師を取得された方</li> <li>c) 日本化学療法学会の抗菌化学療法認定薬剤師を取得された方</li> <li>d) 既に抗菌化学療法チームあるいは感染制御チームに参加して上記認定を目指している方</li> </ol> </li> </ol> |
| 募集人数 | <p>◆基礎コース …………… 63 名 (特別講演聴講+SGD)</p> <p>※応募者多数の場合、抽選に外れた方から特別講演のみ受講者 22 名を募集します</p> <p>◆アドバンスコース …… 63 名 (基礎コースの受講、認定・専門を取得された方を優先します)</p>   |

今年度の  
予定  
研究会の  
主な内容

◆基礎コース

【開催日時（全6回）】

| 開催日 |                | 内容                             | プログラム   |
|-----|----------------|--------------------------------|---|
| 第1回 | R4. 6. 18 (土)  | 感染症の病原体から見た<br>抗菌薬選択法          | ◎開催時間 13:45~17:45<br>・13:45~14:00<br>共催企業の学術講演<br>・14:05~15:20 (75分)<br>特別講演<br>・15:20~15:30<br>確認テスト<br>・15:35~17:45 (130分)<br>ワークショップ (SGL) 他 |
| 第2回 | R4. 7. 2 (土)   | 感受性データの読み方                     |   |
| 第3回 | R4. 8. 27 (土)  | AMR と抗菌薬の適正使用<br>-PK/PD と投与設計- |   |
| 第4回 | R4. 9. 10 (土)  | 感染症の初期治療における<br>抗菌薬の選択         |   |
| 第5回 | R4. 11. 19 (土) | インフルエンザの<br>アウトブレイク対策          |   |
| 第6回 | R5. 1. 21 (土)  | 消毒薬の適正使用<br>と感染制御              |   |

◆アドバンスコース

【開催日時（全3回）】

| 開催日 |                | 内容    | プログラム   |
|-----|----------------|-------|---|
| 第1回 | R4. 7. 23 (土)  | 小児感染症 | ◎開催時間 13:45~17:45<br>・13:45~14:00<br>共催企業の学術講演<br>・14:05~15:35 (90分)<br>特別講演<br>・15:35~15:45<br>確認テスト<br>・15:50~17:45 (115分)<br>ワークショップ (SGL) 他 |
| 第2回 | R4. 10. 15 (土) | 真菌感染症 |   |
| 第3回 | R5. 2月 (土)     | 眼感染症  |   |

◆基礎コース、アドバンスコース共通

- \*ワークショップでは、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて、受講者6~7名のグループを編成し小グループ学習(SGL)を行います。
- \*各研究会終了時に、Google Form等を用いて、研修内容の自己評価試験を行います。
- \*講師の都合により日程を調整または変更する可能性があります。

参加費

- ◆基礎コース…………… 10,500円(6回分) ※研修シール郵送料込み  
特別講演のみ受講 3,600円(6回分)
- ◆アドバンスコース …… 6,500円(3回分) ※研修シール郵送料込み

その他

- ・基礎コース・アドバンスコースは、「特別講演+ワークショップ+確認テスト」となります。
- ・基礎コースに外れた方で特別講演のみ受講希望者から更に抽選で22名募集します。特別講演のみ受講者は、次年度、再度基礎コースへの申込が可能です。
- ・基礎コース(特別講演のみ受講者含む)・アドバンスコース参加者はZoomアカウントを取得してもらい、参加時は原則としてビデオ機能をONにして頂きます。
- ・欠席された回の資料はお渡しできませんので、ご了承ください。
- ・研修内容が感染制御でなく、抗菌化学療法に関わる場合には、日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師の認定単位の取得を予定しています。
- ◆座学での感染症専門領域の半日講習会を11月(土)頃に開催予定です(1,500円)
- ◆講演とパネリアクション等のAMRの半日講習会を2月(土)頃に開催予定です(1,500円)

# 精神科専門薬剤師養成研究会

精神科専門薬剤師養成小委員会  
委員長 高橋 結花

近年、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制が求められており、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築が進められています。地域において自立した社会生活を行うために、薬物治療は非常に重要です。精神科専門薬剤師は、リハビリを見据えた薬物治療が安全かつ適切に行えるように、薬物治療の専門家としてチーム医療の一員としての活躍が求められています。本研究会では、主な精神疾患の病態から薬物療法、服薬指導について、基礎から応用を含めて、知識とスキルを習得して頂けるよう計画しています。

|                                 |   |          |               |       |
|---------------------------------|---|----------|---------------|-------|
| 目的                              | <p>◆Aコース<br/>講義において主要な精神疾患およびその薬物治療および最新の知見について学ぶ。ワークショップの症例検討では、薬物療法だけでなく、介入方法等について他施設薬剤師とのディスカッションを通してスキルアップを図る。</p> <p>◆Bコース<br/>講義において主要な精神疾患およびその薬物治療について学ぶ。ワークショップの症例検討において、他施設薬剤師とのディスカッションを通して、薬剤師の介入ポイントを理解する。</p> |          |               |       |
| 参加資格                            | <p>◆Aコース、Bコース 共通</p> <p>1) 東京都病院薬剤師会の会員<br/>2) 参加について所属長の了承を得られ、全ての回に出席できる方</p>   |          |               |       |
| 募集人数                            | <p>◆Aコース（精神疾患を有する患者に対して服薬指導経験のある薬剤師対象） … 12名<br/>◆Bコース（これから精神疾患および治療を勉強しようと思っている薬剤師対象） … 48名</p>  |          |               |       |
| 研究会の<br>主な内容<br>・<br>今年度の<br>予定 | <p>◆Aコース、Bコース共に同日時開催</p> <p>【開催時間】14:00～18:30</p>   |          |               |       |
|                                 |   | 開催日      | 内容            |       |
|                                 | 第1回   | R3.6月(土) | テーマ           | 統合失調症 |
|                                 |   |          | ワークショップ       | 症例検討  |
|                                 | 第2回   | R3.7月(土) | テーマ           | 双極性障害 |
|                                 |   |          | ワークショップ       | 症例検討  |
|                                 | 第3回   | R3.8月(土) | テーマ           | うつ病   |
|                                 |   |          | ワークショップ       | 症例検討  |
| 第4回                             | R3.9月 or 10月(土)   | テーマ      | 認知症           |       |
|                                 |   | ワークショップ  | 症例検討          |       |
| 第5回                             | R3.10月 or 11月(土)  | テーマ      | 精神科領域における薬物中毒 |       |
|                                 |   | ワークショップ  | 症例検討          |       |
| 参加費                             | 10,500円(5回分) ※研修シール郵送料込み  |          |               |       |
| その他                             | 講師等の都合により、日程が変更になる場合があります。  |          |               |       |

# 妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研究会

妊婦・授乳婦専門薬剤師養成小委員会  
委員長 刈込 博

| 目的                              | <ol style="list-style-type: none"><li>1) 妊娠・授乳期の母体の生理的な変化と特性、妊娠週数にあわせた胎児の薬剤感受性に関する知識を習得する。</li><li>2) 妊娠・授乳期に使用される医薬品の薬理作用、体内動態、生殖発生毒性に関する知識を習得する。</li><li>3) 妊娠中に使用した医薬品の生殖発生毒性の有無の評価に必要な情報評価ができ、この内容に関して医師及び患者とリスクコミュニケーションスキルを習得する。</li><li>4) 妊婦・授乳婦との良好なコミュニケーションができ、関連の医師、助産師、看護師と連携して生殖医療に関連した生命倫理に配慮した服薬カウンセリングを行うための知識、技術を習得する。</li><li>5) 生殖発生毒性の適切な評価に基づき次世代への健康被害を防止するとともに、過剰な不安から胎児の命が中断されたり、母乳栄養の利点が得られなくなることの無いように妊婦・授乳婦の薬学的支援を行うための知識、技術を習得する。</li></ol>  |                                       |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
|---------------------------------|---|---------------------------------------|-----|---------|-----|-------------|--------------------------------------|-----|-------------|-----------|-----|-------------|---------------------------------------|-----|------------|--------------------------------------|-----|--------------|------------------|-----|--------------|------------------|
| 参加資格                            | <ol style="list-style-type: none"><li>1) 東京都病院薬剤師会の会員</li><li>2) 参加について所属長の了承を得られ、予定された講義に全て参加できる方</li></ol>  |                                       |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 募集人数                            | 80名   |                                       |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 研究会の<br>主な内容<br>・<br>今年度<br>の予定 | <p>【開催日時】 平日の18:30~20:30 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・薬系教育講演</li><li>・医系教育講演</li></ul> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>開催日</th><th>内容 (予定)</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回</td><td>R4年5月16日(月)</td><td>「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」<br/>「妊娠と母体の変化、胎児の発育」</td></tr><tr><td>第2回</td><td>R4年6月27日(月)</td><td>「先天異常の基礎」</td></tr><tr><td>第3回</td><td>R4年7月25日(月)</td><td>「周産期メンタルヘルスの基礎知識」<br/>「妊婦服薬カウンセリングの実際」</td></tr><tr><td>第4回</td><td>R4年9月5日(月)</td><td>「新生児病棟での薬剤師の役割」<br/>「授乳婦服薬カウンセリングの実際」</td></tr><tr><td>第5回</td><td>R4年10月17日(月)</td><td>「妊婦関節リウマチの診断と治療」</td></tr><tr><td>第6回</td><td>R4年11月28日(月)</td><td>「新生児の生理的特徴と母乳栄養」</td></tr></tbody></table> <p>【開催回数】 6回/年<br/>※講師の都合により、日程、講義内容に変更が生じる可能性があります。</p> |                                       | 開催日 | 内容 (予定) | 第1回 | R4年5月16日(月) | 「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」<br>「妊娠と母体の変化、胎児の発育」 | 第2回 | R4年6月27日(月) | 「先天異常の基礎」 | 第3回 | R4年7月25日(月) | 「周産期メンタルヘルスの基礎知識」<br>「妊婦服薬カウンセリングの実際」 | 第4回 | R4年9月5日(月) | 「新生児病棟での薬剤師の役割」<br>「授乳婦服薬カウンセリングの実際」 | 第5回 | R4年10月17日(月) | 「妊婦関節リウマチの診断と治療」 | 第6回 | R4年11月28日(月) | 「新生児の生理的特徴と母乳栄養」 |
|                                 | 開催日   | 内容 (予定)                               |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 第1回                             | R4年5月16日(月)   | 「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」<br>「妊娠と母体の変化、胎児の発育」  |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 第2回                             | R4年6月27日(月)   | 「先天異常の基礎」                             |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 第3回                             | R4年7月25日(月)   | 「周産期メンタルヘルスの基礎知識」<br>「妊婦服薬カウンセリングの実際」 |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 第4回                             | R4年9月5日(月)  | 「新生児病棟での薬剤師の役割」<br>「授乳婦服薬カウンセリングの実際」  |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 第5回                             | R4年10月17日(月)  | 「妊婦関節リウマチの診断と治療」                      |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 第6回                             | R4年11月28日(月)  | 「新生児の生理的特徴と母乳栄養」                      |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |
| 参加費                             | 6,500円 (6回分) ※研修シール郵送料込み  |                                       |     |         |     |             |                                      |     |             |           |     |             |                                       |     |            |                                      |     |              |                  |     |              |                  |

# 臨床研究専門薬剤師養成研究会

臨床研究専門薬剤師養成小委員会

委員長 榎本 有希子

学会発表してみたいけど、初めてなのでどうすればよいかよく分からない……。  
あまり経験していないのに後輩の臨床研究の指導をしなければならない……。  
臨床研究について、もっと勉強してみたいけど、何から手をつけたらよいのか分からない……。  
実は、このような悩みを抱える薬剤師って意外と多いです。

まず、臨床研究を始める前に、おさえておきたい大事なポイントは知っていますか？  
例えば、カルテから薬歴や副作用情報などを調査する『後ろ向き観察研究』であっても、学会発表や論文投稿をする場合は、研究を開始する前に必要項目が記載された実施計画書や情報公開文書などを作成し、倫理委員会の承認を得ることが倫理指針で規定されています。  
また、質の良い研究を行うために、「研究計画書をきちんと吟味して作成すること」も大切で、PICO/PECO、FINER や指針などの理解も大事です。  
今回、講義や演習そしてグループワークなど取り入れ、参加者同士の生の意見が聞けて、楽しく学べるような研究会を企画しました。

「これから臨床研究を始めようとしている方」「学会発表や論文投稿を考えている方」  
「後輩などに臨床研究の指導をする予定の方」「臨床研究に関する知識を更に深めたい方」  
まずはこの研究会に参加して、一緒に始めの一步を踏み出してみませんか？

|                         |  |   |   |
|-------------------------|--|---|---|
| 目的                      | 学会発表や論文投稿に必要な臨床研究に関する基礎的な知識と技能を習得すること  |   |   |
| テーマ                     | 「臨床研究、みんなで学習、学会発表への第一歩」  |   |   |
| 参加資格                    | 1) 東京都病院薬剤師会の会員<br>2) 参加について所属長の了承と推薦を得られ、予定している全ての回に出席できる方<br>3) 原則として、カメラ内蔵またはカメラ外付けのパソコンで参加可能な方<br>※過去に受講されたことがある方も再受講可能です。 |   |   |
| 募集人数                    | 30名  |   |   |
| 研究会の主な内容<br>・<br>今年度の予定 | 【開催時間】 19:00~21:00<br>【開催方法】 Web システム Zoom を使用したリモート研修（講義、グループワーク等）<br>※安定した通信環境がある場所でご参加ください                                  |   |   |
|                         | 回数   | 開催日   | 内容  |
|                         | 第1回  | R 4. 5. 19<br>(木)                           | 学会発表・臨床研究に必要な知識を理解する<br>臨床研究を計画するプロセスについて学ぶ   |
|                         | 第2回  | R 4. 7. 21<br>(木)                           | 研究計画書の記載内容を理解する                               |
|                         | 第3回  | R 4. 9. 15<br>(木)                           | 倫理委員会における審査のポイントを理解する<br>計画された研究計画書を吟味する      |
|                         | 第4回  | R 4. 11. 17<br>(木)                          | 統計学的検定手法の選び方を学ぶ<br>臨床データ解析に必要な基本的な統計の考え方を理解する |
| 第5回                     | R 5. 1. 19<br>(木)  | インフォームド・コンセントのありかたを学ぶ<br>インフォームド・コンセントを実践する |   |
| 参加費                     | 5,500円（5回分）※研修シール郵送料込み   |   |   |

# 高齢者薬物療法領域薬剤師養成研究会

高齢者薬物療法領域薬剤師養成小委員会

委員長 金内 幸子

| <p>目的</p>            | <p>高齢者の特徴に配慮したより良い薬物療法を実践するための基本的留意事項を学び、処方見直しの基本的な考え方など臨床応用できる知識の修得を目指します。<br/>                 薬剤師としての専門性を活かした高齢者薬物療法への関わりをともに考えていく場とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 加齢に伴う生理的な変化、腎機能の変化による薬物動態や薬物反応性についての知識を深める。</li> <li>2) 多職種が関わる高齢者薬物療法において、薬剤師の役割を考える。</li> <li>3) 施設間でポリファーマシー対策の関わり方を交流しあい、新たな活動の一步とする。</li> <li>4) 症例検討を通し、症例から学び取る力を養う。</li> <li>5) 処方見直し、処方提案の実践力を身につける。</li> </ol>   |                 |  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
|----------------------|--|-----------------|--|------|--------|-----|----------------|-----------------|---|-----|----------------|-----------------|--|-----|------------------|-----------------|---|-----|-----------------|-----------------|--|
| <p>参加資格</p>          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東京都病院薬剤師会の会員</li> <li>2) 参加について所属長の了承を得られ、予定された研究会4回全てに必ず参加できる方</li> <li>3) 原則として、カメラ内蔵またはカメラ外付けのパソコンで参加可能な方</li> </ol>  |                 |  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| <p>募集人数</p>          | <p>70名</p>   |                 |  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| <p>研究会の<br/>主な内容</p> | <p>○講義形式：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者医薬品適正使用指針（ポリファーマシー対策含む）</li> <li>2) 認知機能評価と服薬管理</li> <li>3) 高齢者と嚥下機能障害の薬学的支援</li> <li>4) 高齢者と生理機能・腎機能に基づく処方設計</li> <li>5) 疾患領域（高齢者の高血圧治療、糖尿病治療、耳鼻咽喉科領域、など）</li> </ol> <p>○ディスカッション：自身で模擬症例を作成し、適正な高齢者薬物療法を考える</p>   |                 |  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| <p>今年度の<br/>予定</p>   | <p>【開催日時（全4回）】★Zoom 配信による開催。<br/>                 内容に関して、講師との調整により変更もありますので、ご了承ください。</p> <table border="1" data-bbox="256 1386 1546 1935"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催予定日</th> <th>開催時間</th> <th>内容（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R4年<br/>6月9日（木）</td> <td>18：30<br/>～20：40</td> <td>（仮）『高齢者ポリファーマシー関連、内服しやすい剤形、補助具、他』、『高齢者糖尿病 ガイドライン関連』</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>R4年<br/>9月8日（木）</td> <td>18：30<br/>～20：40</td> <td>（仮）『摂食嚥下障害患者における薬剤の影響等について』、『高齢者の摂食嚥下栄養関連』</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>R4年<br/>11月10日（木）</td> <td>18：30<br/>～21：00</td> <td>（仮）『高齢者感染症における薬物療法の適正化～抗菌薬適正使用を中心に～』、グループでの症例検討</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>R5年<br/>1月24日（火）</td> <td>18：30<br/>～21：10</td> <td>（仮）『高齢者における耳鼻咽喉科領域の最新の話題』、『高齢者への薬物療法に関する症例検討』、全体症例発表</td> </tr> </tbody> </table> |                 | 開催予定日  | 開催時間 | 内容（予定） | 第1回 | R4年<br>6月9日（木） | 18：30<br>～20：40 | （仮）『高齢者ポリファーマシー関連、内服しやすい剤形、補助具、他』、『高齢者糖尿病 ガイドライン関連』 | 第2回 | R4年<br>9月8日（木） | 18：30<br>～20：40 | （仮）『摂食嚥下障害患者における薬剤の影響等について』、『高齢者の摂食嚥下栄養関連』 | 第3回 | R4年<br>11月10日（木） | 18：30<br>～21：00 | （仮）『高齢者感染症における薬物療法の適正化～抗菌薬適正使用を中心に～』、グループでの症例検討 | 第4回 | R5年<br>1月24日（火） | 18：30<br>～21：10 | （仮）『高齢者における耳鼻咽喉科領域の最新の話題』、『高齢者への薬物療法に関する症例検討』、全体症例発表 |
|                      | 開催予定日  | 開催時間            | 内容（予定）   |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| 第1回                  | R4年<br>6月9日（木）   | 18：30<br>～20：40 | （仮）『高齢者ポリファーマシー関連、内服しやすい剤形、補助具、他』、『高齢者糖尿病 ガイドライン関連』  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| 第2回                  | R4年<br>9月8日（木）   | 18：30<br>～20：40 | （仮）『摂食嚥下障害患者における薬剤の影響等について』、『高齢者の摂食嚥下栄養関連』           |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| 第3回                  | R4年<br>11月10日（木）   | 18：30<br>～21：00 | （仮）『高齢者感染症における薬物療法の適正化～抗菌薬適正使用を中心に～』、グループでの症例検討      |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| 第4回                  | R5年<br>1月24日（火）  | 18：30<br>～21：10 | （仮）『高齢者における耳鼻咽喉科領域の最新の話題』、『高齢者への薬物療法に関する症例検討』、全体症例発表 |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| <p>参加費</p>           | <p>4,500円（4回分）※研修シール郵送料込み</p>  |                 |  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |
| <p>その他</p>           | <p>第3回：ポリファーマシー模擬症例提出、グループワークでのディスカッションとなります。</p>  |                 |  |      |        |     |                |                 |   |     |                |                 |  |     |                  |                 |   |     |                 |                 |  |

# 臨床推論研究会

臨床推論推進特別委員会

委員長 添田 博

患者さんの訴えをどのように聴いたらよいかわからない。聴いてはみたものの、そこからどのように考えてよいかわからない。複雑な臨床の不確かさの中で、病棟や外来・在宅へと活躍の場を広げた薬剤師は、様々な場面でそうした状況に遭遇します。そこで必要になる『患者さんの疾病を明らかにし、解決しようとする際の思考過程やその内容』のことを、臨床推論といいます。

臨床推論は、医学領域では、診断から治療までの一連の思考過程の教育に使用されています。臨床の現場では、多職種に参加するカンファレンスなどでも症例プレゼンテーションと併せて患者情報や自分の思考を共有するために使用されたりします。薬剤師が臨床で、医薬品のプロフェッショナルとしての能力を発揮するために、この臨床推論を学ぶ場を設けたのが本研究会です。

臨床推論の考え方には様々な様式がありますが、本研究会では仮説演繹法といわれる方法で、特に患者さんと話すために必要な「病歴」に焦点を当てた学びを提供しています。「病歴」と聞くと誰でも知っているような内容に聞こえるかもしれませんが、その病歴情報を収集したり、活用したりすることは容易ではありません。患者さんに何が起きているのか、どのような情報を聴取すべきなのか、得られた様々な情報をどのようにスタッフと共有するのか。基本的ですが難易度の高いこの内容を、研究会では時間をかけて提供しています。また、そのようにして得た技術を臨床で生かすべく、実践的に症例を用いて考えるセッションも準備しています。なぞ解きをするように、考えることを楽しんでいただけるように準備しております。

本研究会は、臨床推論の基本を知っていただくことを目的とした全3回のコースとなります。委員一同で毎回内容を議論し、終了後には振り返りを実施し、研究会に参加される受講者の先生方に少しでも多くの学びをお持ち帰り頂けるように努めております。ベテランの薬剤師にとっては学び直すきっかけを、これから経験を積む薬剤師にとっては臨床で学ぶことのきっかけをご提供いたします。限られた年3回のコースですが、本コースとは別に公開講座および公開ケースカンファレンスも企画しております。本コースが受講者の方の学びの一助になるよう、委員一同、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

募集要項は裏面をご覧ください。

|              |  |                       |             |
|--------------|--|-----------------------|-------------|
| 目的           | 臨床現場における臨床推論の思考プロセスを理解する。  |                       |             |
| 参加資格         | 以下の条件をすべて満たす方<br>1) 東京都病院薬剤師会の会員<br>2) 参加について所属長の了承と推薦を得られ、全ての回に出席できる方<br>※一度受講された方の申込みはできません。   |                       |             |
| 募集人数         | 20名  |                       |             |
| 研究会の<br>主な内容 | 第1回 基礎講座①：病歴聴取、疾患の想起と病態生理<br>第2回 基礎講座②：病歴聴取、疾患の想起と病態生理<br>第3回 基礎講座③：推論の思考を学ぶ<br>(講義・演習内容が変更になる場合があります。)  |                       |             |
| 今年度の<br>予定   | (変更になる場合があります)   |                       |             |
|              |  | 開催日                   | 開催時間        |
|              | 第1回  | 2022. 6. 23 (木)       | 18:00~19:30 |
|              | 第2回  | 2022. 9. 7 (水)        |             |
|              | 第3回  | 未定<br>(2022年11月~12月頃) | 未定          |
|              |  |                       | 会場          |
|              |  |                       | Web開催       |
| 参加費          | 3,500円(3回分)  |                       |             |
| その他          | <p>本コースは…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床推論の入門編であり、熟達者のためのコースではありません。</li> <li>Webでの参加型研修となっております。</li> <li>開催回によって事前学習課題がある場合があります。</li> <li>小児への推論の応用を想定していません。</li> <li>専門領域薬剤師養成研究会と重複しての申し込みはできません。</li> </ul> <p>公開講座・公開ケースカンファレンス<br/>本コースとは別に、公開講座および公開ケースカンファレンスを予定しています。</p> |                       |             |